

関西の景気ピックアップ【雇用関連（25 年 5 月）】

- 25 年 5 月の労働力調査（総務省）によると、近畿の完全失業率は 2.7%（原数値）と、前年比で 0.1 ポイントの低下となった。前年比での低下は 6 か月連続。変化の内訳は、就業者数が前年比で 13 万人の増加となり、失業者は 1 万人の減少、非労働力人口は 14 万人の減少となっている。
- 一方、近畿の有効求人倍率（厚生労働省）は、25 年 5 月は 1.16 倍（季節調整値）と前月比で横ばいとなった。ここ半年程度の動きをみる限り、求人の動きに大きな方向感を感じられない。
- 近年は南関東と関西、東海の間で、新規求人数のトレンドに大きな違いがみられる。南関東が緩やかな増加傾向にある一方で、関西と東海は 22 年の中旬をピークに減少傾向が進んでいる。
- 結果として、全国の新規求人数に占める南関東の比率は上昇傾向が続いており、直近は 26%を超えるなど、全国の 4 分の 1 強が集中する形となっている。

